

小久保議員の「これからの伊達市について」のご質問からお答えいたします。

国立社会保障・人口問題研究所が発表した令和5年人口推計において、本市の生産年齢人口は、2020年の16,867人から、2050年には8,086人へと半減が見込まれており、経済・産業の発展や雇用の拡大は、安心して働き、住み続けられるまちづくりにつながる喫緊の課題であるものと認識しております。

また、基本目標である「稼ぐ力と雇用を生み出す」ために、基幹産業である農業や地場産業などにおいて、本市の資源を最大限に活用するとともに、産業の活性化に向けて取り組んで参ります。

次に「未利用の公共施設について」であります。行政目的での利活用が見込めない施設につきましては、伊達市公共施設等総合管理計画に基づき、民間への売却や貸付等を進めるほか、民間要望や事業提案を取り入れて保有施設の有効活用を図るため、サウンディング型市場調査の準備を進めているところです。